

横浜銀行グループ × 地方創生 2025



横浜銀行では、地方公共団体や
地元大学、地域事業者や
他の金融機関などと連携し、
多様なネットワークを
活かしながら、
まちづくりや観光活性化、
地域企業の課題解決などに
取り組んでいます。



はまペン



2018年より「地域本部体制」を
導入し、地区地域ごとに多様化・
個別化する課題やニーズに応じた
地域戦略の策定および実現に向け
た企画・立案をおこなっています。

横浜銀行における地方創生の推進体制



まちづくりに資する取組

- ・地域開発案件への資金協力、地方公共団体と連携した企業誘致や PPP/PFI 案件の推進
- ・大規模団地の再生支援をはじめとする持続可能なまちづくりへの関与

2027年国際園芸博覧会(横浜市)

GREEN×EXPO 2027 (2027年国際園芸博覧会)の開催に向けて、開催都市である横浜市と連携協定を締結し、紙通帳から環境に配慮したWeb通帳への切り替えを推進するなど、新たなグリーン社会の実現に向けた取り組みを進めています。



県・市町村と連携した 企業誘致・PPP/PFIの推進

神奈川県企業誘致促進協議会に参画し、県内企業立地の促進を行っています。また、横浜PPPプラットフォームの運営事務局として、横浜市内施設の利活用を推進しています。



「よこすかポートマーケット」の開業支援 (横須賀市)

レストランや土産物店が集まる「食」の魅力を発信する商業施設のリニューアルオープンを浜銀総合研究所と連携して支援し、地域の賑わい創出によるまちの活性化に取り組みました。



量子イノベーションパーク形成に向けた 機能整備検討業務(川崎市)

川崎市が新川崎・創造のもりで推進する「量子イノベーションパーク」の整備にあたり、量子技術に関する技術・産業動向、量子IPに必要な機能、整備によりもたらされる効果等を調査・検討しています。



株式会社浜銀総合研究所は、中央官庁や地方公共団体等からの委託に基づき、社会課題、地域課題の解決に資する調査研究やサポートを行っています。



ひとの流れを作る取組

- ・地方公共団体や地域の事業者と連携した観光振興に向けた取組
- ・社会環境の変化に適応した地域の消費促進施策への協力

サステナブルな地域活性化に向けた 観光コンテンツの創出(宮ヶ瀬地区)

地方公共団体や事業者、大学等と連携し、宮ヶ瀬地区における金融教育イベントの開催や、人流データ分析等による観光活性化施策の検討など、様々な施策に取り組んでいます。



電子地域通貨の導入による地域経済の好循環や 地域コミュニティの活性化(秦野市)

共同事業体の代表機関として、「OMOTANコイン事業」に取り組み、地域の消費活動や経済循環を促進し、地域住民と事業者間のつながりの強化に努めています。





しごとを作る取組

- ・ 大学や産業振興財団など外部機関と連携した企業価値向上支援
- ・ 取引先の販路拡大や生産性向上の支援、雇用の維持確保に対する取り組み

産学官金連携による地域企業の課題解決

〈産学官金連携コーディネータ制度〉

当行行員が横浜国立大学、青山学院大学、昭和医科大学から「産学官金連携コーディネータ」の委嘱を受け、取引先の技術課題と知見を持つ大学関係者とのマッチングを支援し、産学連携による地域企業の課題解決に取り組んでいます。

産学連携マッチング

取引先の技術的課題を解決する知見を持つ大学とのマッチングを支援し、産学連携による地域企業の発展に貢献する。



〈CUP-Kマッチング会〉

かながわ産学公連携推進協議会と神奈川産業振興センターと共同で県内8大学の優れた技術シーズの発表会を開催しました。大学の持つ技術・知見と企業をマッチングし、企業の新製品開発や技術課題の解決を支援する取組を実施しました。



地域における産業振興イベントの開催

2024年11月に横浜国立大学や県内の半導体関連の大企業等と連携し、次世代半導体の実装化や、横浜エリアにおけるエコシステムの形成について、大学による基調講演やトークセッションを含むイベントを実施し、地域産業の振興に取り組みました。



大規模食品商談会 「地方銀行フードセレクション」

当行および全国の地方銀行とリッキービジネスソリューション株式会社が主催する、地域食品に特化した商談会です。例年、東京ビッグサイトで開催し、販路拡大を目指す食品事業者に商談の場を提供しています。



技術シーズの社会実装化助成金 はまぎん財団 Frontiers

社会課題の解決に資する神奈川県内の優れた技術シーズや開発構想の商品化・事業化を支援することを目的として、はまぎん産業文化振興財団による助成金事業を実施しています。



ちばぎん・はまぎん 学生ビジネスアイデアコンテスト

千葉銀行と連携し、将来の地域経済の担い手となる学生のアントレプレナーシップ（起業家精神）醸成を目的としたビジネスアイデアコンテストを開催しています。



自治体 DX への取組

- ・ 電子納税をはじめとする公金手続きのデジタル化を推進

税務手続きのデジタル化促進のために、2023年10月に県内の地方公共団体、税務署、金融機関、経済団体等とともに「かながわ電子納税推進プロジェクト」を発足し、各団体と連携して電子納税推進に向けた活動を実施しています。2024年10月には1周年フォーラムを開催し、2027年3月末までにeLTAX納付率(※)30%を目指す「ターゲット30for2027」を設定しました。

電子納税の推進を通じて、納税者や行政、金融機関の業務効率化を進め、地域の生産性向上をはかります。

(※) 神奈川県内の個人住民税特別徴収分に係るeLTAX納付率。2025年3月末時点の納付率は21.8% (速報値)





SDGs への取組

金融リテラシーの普及・向上や困難を抱えるこどもの支援、グローバル人材の育成など、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。



グループ社会貢献活動方針はこちら！

金融教育プログラム「はまぎん おかねの教室」



地域の人々を対象として、生きる力を育むことを目的に、独自の金融教育プログラム「はまぎん おかねの教室」を立ち上げ、ウェブサイト上で楽しく学べる動画や、学校ですぐに使える教材提供に加え、教育機関や地方公共団体などと連携して、金融教育の授業開発や実践などに取り組んでいます（内閣府特命担当大臣賞受賞）。また、横浜国立大学と金融教育に関する連携協定を締結し、本協定を通じて、「金融教育の附属学校等への授業実践の習慣化」「教育学部・教職大学院での金融教育の担い手の育成」などに取り組んでいます。最近では、当行と東京証券取引所の資産形成の講義をセットにして経営学部で実践しました。



はまぎん おかねの教室ウェブサイトはこちら！

生物多様性の保全

真鶴町・横浜国立大学・特定非営利活動法人ディスカバーブルーと生物多様性保全に関する連携協定を締結し、積極的に生物多様性保全に取り組んでいます。今年度は、真鶴町三ツ石海岸で海に親しむイベント「海のミュージアム」へ協賛することで、地域の皆様や行員に対し生物多様性保全について学ぶ機会を提供しています。



高校生向け海外留学奨学金事業「Voyage」

はまぎん産業文化振興財団による高校生向け海外留学奨学金事業「Voyage」を通じて、神奈川県に貢献するグローバル人材の育成を後押ししています。海外留学における経済的な負担を軽減するため、1人につき最大120万円を給付しています。



〈はまぎん〉ミライを創るアクションプログラム

SDGsの17の目標に関連した社会課題の解決に取り組むNPO法人を募集し、助成金を支給するプロジェクトを実施しています。「困難を抱えるこどもを支援する活動」を募集テーマとし、ひとり親家庭や社会的養護が必要なこどもへの教育や生活の安定に向けた活動を支援しています。



脱炭素への取組

地方公共団体等と連携し、脱炭素に向けた取組への支援をおこなっています。

地域脱炭素プラットフォーム

当行主催のもと、地方公共団体・企業・大学などによる地域脱炭素プラットフォームを設立し、神奈川県内における脱炭素社会の実現に向けた取組をおこなっています。



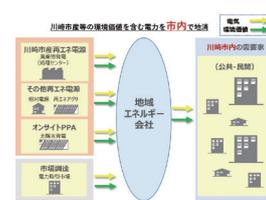
はまぎん環境教育プログラム

SAF(持続可能な航空燃料)をテーマとして、子どもたちが循環型社会の重要性を学び、脱炭素社会の実現に向けた行動を促す探求型学習プログラムを提供しています。



官民連携による再生エネルギー電力の地産地消の推進

電力小売り事業を通じて市外に流出していた廃棄物発電の電力としての価値および環境価値を、地域エネルギー会社「川崎未来エナジー株式会社」の設立により市内の需要家へ



供給することで、地域自立型の脱炭素化・再生エネの地産地消を実現します。

